

## 地域における公衆衛生活動の充実を目指して

### 平成27年度公衆衛生活動対策専門委員会

- 日 時 平成28年1月14日（木） 午後4時10分～午後5時30分
- 場 所 テレビ会議 鳥取県健康会館 鳥取市戎町  
鳥取県中部医師会館 倉吉市旭田町  
鳥取県西部医師会館 米子市久米町
- 出席者 19人  
〈鳥取県健康会館〉  
魚谷会長、渡辺委員長  
岡田・瀬川・中村・日野・福永・丸瀬・村上・吉田朋幸各委員  
オブザーバー：県健康政策課がん・生活習慣病対策室 米田課長補佐  
健対協事務局：谷口事務局長、岩垣係長、田中主任  
〈鳥取県中部医師会館〉森尾・吉田良平各委員  
〈鳥取県西部医師会館〉能勢・辻田・吹野各委員

#### 挨拶（要旨）

〈魚谷会長〉

本委員会は、県民に対しての色々な疾病の啓発活動が主な事業である。地区医師会を中心にたくさん取り組まれているので、引き続きお願いする。

年に1回開催している健康フォーラムの参加者がここ数年非常に少なく、今後どのようにするのか、皆様方のご意見を伺いたい。よろしく願いする。

〈渡辺委員長〉

ご多忙のところ、ご参集いただき、ありがとうございます。

公衆衛生活動は時代の流れでテーマも変わってきているが、医療を支える住民の健康の基盤づくりが重要な分野であることには変わりはない。

時代の流れで少し取り組みの変化が求められる

部分と継続すべき部分とあると思われるが、忌憚のないご意見をお願いします。

#### 報 告

#### 1. 平成26年度事業報告及び平成27年度事業中間報告

(1) 健康教育事業：渡辺委員長より報告

①健康フォーラム

○平成26年12月21日（日）とりぎん文化会館「第一会議室」開催。聴講者50名。

テーマ『肺がんを予防し、健康長寿を！』

「肺がん治療の最前線—禁煙は最大のがん予防—」

講師：鳥取大学医学部器官制御外科学講座胸部外科学分野教授 中村廣繁先生

「禁煙成功のポイントはここ！」

講師：安陪内科医院 院長 安陪隆明先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県健康対策協議会

○平成27年11月29日（日）倉吉未来中心「セミナールーム3」開催。聴講者30名。

テーマ『怖いCOPD（慢性閉塞性肺疾患）～見直そう肺の健康・肺の病気～』

「COPDが死因の3位になるって本当!?—COPDにかからないために、COPDで死なないために—」

講師：鳥取大学医学部統合内科医学講座分子制御内科学教授 清水英治先生

「タバコが美味しくて、COPDになってもやめられない仕組み—ニコチン依存症—禁煙成功のポイントはここ！」

講師：河本医院 院長 河本知秀先生

共催：鳥取県医師会・鳥取県中部医師会・鳥取県健康対策協議会

当日、検査機器の業者の協力により希望者に肺年齢測定を行い、好評であった。

新日本海新聞社の特別後援により、開催地の医療機関に協賛広告のご協力をお願いし、イベント案内を紙面で広報していたが、費用負担が大きいこともあり、平成25年度より新日本海新聞社の特別後援はお願いしないこととなった。

よって、平成26年度より県委託事業予算を元に、鳥取県医師会・地区医師会・鳥取県健康対策協議会の共催で規模を縮小して開催を行った。チラシを作成し、県内医療機関、各市町村等を通じて県民への広報を行った他、県医師会ホームページにもイベント案内を掲載したが、聴講者が年々減少している。

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を平成26年度は24回、平成27年度は1月現在で20回掲載した。

公開健康講座の講演内容について掲載している。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を平成26年度は26回、平成27年度は1月現在で20回掲載した。

一般の方から疾病に関する質問を受付、それ

に対する回答を掲載している。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー

毎月1回、鳥取県医師会公開健康講座実施。会場は鳥取県健康会館のほか、倉吉市市内で1回開催した。なお、鳥取県の委託事業である「生活習慣病対策セミナー」については年12回で、鳥取県医師会公開健康講座のうち6回を生活習慣病セミナーにあて、3地区においても2回ずつ同様のセミナーを実施。

鳥取県医師会公開健康講座の移動講座を毎年秋に倉吉で1回のみ行っているが、受講者が少ないこともあり、平成27年度は倉吉市では開催しなかった。

(2) 地域保健対策：岡田委員より報告

『各種がん検診確定がん予後調査から検診の精度評価を考える』として、平成25年度より乳がんについて調査を行っていたが、平成26年度で終了。解析結果をとりまとめているところである。

平成27年度より、新たに鳥取大学医学部消化器内科 松本和也先生を中心にして「鳥取県における膵臓診療の実態調査」を行う。

膵臓による死亡者数は、臓器別では2014年に肝細胞癌を抜いて第4位と増加傾向である。

鳥取県・島根県のがん死亡率は全国平均よりも高く、中でも山陰両県の女性における膵臓癌の死亡率は、がん部位別死亡率（2005年～2011年、75歳未満年齢調整死亡率、10万人対）で頻回に上位に位置している。膵臓診療の課題は、病理学的エビデンスを取得せずに手術・抗がん剤治療・緩和医療などを実施されていることが少なくないが、山陰地区におけるその実態は不明である。よって、県内11病院を対象として、2012年～2014年度に膵臓診療に際して、①病理学的エビデンスの取得率、②膵腫瘍組織型、③浸潤性膵管癌のStage、治療方針、治療経過などを調査し、どのような対策が膵臓患者の予後及びQOL改善にとって有効

か具体的に検討する。

2016年2月に鳥取大学倫理委員会の承認取得後、データ集積を行う予定。

### (3) 生活習慣病対策事業

#### ①地区における健康教育

〈東部医師会（福永委員）〉

1. 東部消防局を会場にして救急医療講習会を平成26年9月6日と平成27年6月12日に開催した。
2. 平成26年11月22日に行われた鳥取市市民健康ひろばにて、鳥取市立病院の足立誠司先生による講演を行った。また、平成27年11月23日においては、鳥取市立病院医師による健康相談を行った。
3. 東部医師会健康スポーツ講演会を平成26年8月8日と平成27年2月6日に開催した。平成27年度は、平成27年6月12日と平成28年2月4日開催予定である。
4. 各会員による健康教育講演は、平成25年度は99回、平成27年度は12月末で39回行った。

〈中部医師会（森尾委員）〉

1. 「住民健康フォーラム」を平成26年度は11月9日に「スポーツと健康」をテーマに開催し、参加者は36名であった。また、平成27年度は6月14日に「怖い熱中症！どう対処する!?!」をテーマに開催し、参加者は46名であった。
2. 各会員による健康教育講演は、平成26年度は42回行い、平成27年度は31回計画している。  
がん予防の話や、学校において児童、生徒を対象に禁煙防止教育を中心に行っている。

〈西部医師会（吹野委員）〉

1. 健康教育講座を平成26年度は米子市内の公民館で24回、境港市で20回行った。平成27年度は12月現在で米子市内の公民館で17回、境港市で15回行った。
2. 在宅医療推進委員会の一環として、地区の公

民館を会場にして、平成26年度は「『出前講座』我が家で自分らしく生き、暮らし続けるために～在宅医療とは～」と題した講演を19回開催した。

3. 毎月第3木曜日に米子市文化ホールで「一般公開健康講座」を行っており、平成26年度は12回、平成27年度は12月現在で9回開催されている。
4. 各会員による健康教育講演は、平成26年度は57回、平成27年度は集計中である。
5. 中海テレビで医師の出演による「健康プラザ（5分番組）」が放送されている。

各地区の医師会員が地域、学校において住民のために、それぞれの希望に沿ったテーマで健康教育活動を献身的に多く行われている。

#### ②健康医療相談

鳥取県健康会館において、面談による健康医療相談を毎月第1～4木曜日に行っている。第1木曜日は精神科、第2及び第4木曜日は内科、第3木曜日は整形外科で実施している。

平成26年度は45件、平成27年度は1月現在で52件の相談があった。

## 協 議

### 1. 平成28年度事業計画（案）：

渡辺委員長より説明

#### (1) 健康教育事業

##### ①健康フォーラム

・日本海新聞社の後援がなくなり、年々と聴講者が減少しているが、参加者からは内容は大変良く、好評であった。各地区持ち回り開催としており、平成28年度は西部で開催予定であるが、実施するかどうか検討を行った。

以下の意見があった。

開催時期：ここ2年間年末開催であったが、寒い時期より9月頃の参加しやすい時期がいいのではないかと。

場所：市部開催で行ってきたが、郡部開催に

してはどうか。

テーマ：多くの方が興味をもてれる一般的な生活習慣病（糖尿病、高血圧等）をテーマとしてはどうか。

協議の結果、西部地区で開催することとし、吹野委員、辻田委員を中心に、開催時期、場所、テーマ、広報の仕方を来年度に向けて検討していただくこととなった。

②日本海新聞健康コラム「保健の窓」を年間25回掲載続行予定。

③日本海新聞健康コラム「健康なんでも相談室鳥取県医師会Q&A」を木曜日（月2回～3回）に掲載続行予定。

辻田委員より、一般の方から疾病に関する質問が大変少なく苦慮しているの、そろそろ終了してはどうだろうかという話があった。

⇒読者はかなり読んでおられる。公開健康講座で質問があったものを編集して掲載してはどうか。また、健康相談の相談内容を編集して掲載してはどうか。県健康政策課からは、県

の事業の紹介も兼ねた質問を提供させていただくことは可能である等の意見があった。よって、平成28年度も継続して実施することとなった。

④鳥取県医師会公開健康講座、生活習慣病対策セミナー継続開催。

県健康政策課より平成27年度に行われる①健康フォーラム、②生活習慣病対策セミナー、③日本海新聞健康コラムにおいて、次のテーマが希望されており、平成28年度立案の際には検討することとなった。各種がん、肝臓病、C型肝炎の治療、糖尿病予防対策、脳血管疾患、高血圧に関連する疾病予防、CKD対策、鳥取県禁煙治療費助成事業、感染症対策。

## （2）地域保健対策

「鳥取県における膀胱診療の実態調査」継続実施。

## （3）生活習慣病対策事業

地区医師会の健康教育、健康医療相談を継続実施。

鳥取県健康対策協議会のホームページでは、各委員会の概要、委員会記録、出版物、従事者講習会から特定健診の情報まで随時更新しています。

なお、鳥取県医師会ホームページ（<http://www.tottori.med.or.jp>）のトップページ右領域のメニュー「鳥取県健康対策協議会」からもリンクしています。

→「鳥取県健康対策協議会」

<http://www.kentaikyou.tottori.med.or.jp>

